

VI 東京都小児がん診療連携ネットワークについて

東京都立小児総合医療センター 血液・腫瘍科 湯坐 有希

1. 小児がん拠点病院について

- ・平成 24（2012）年 6 月に閣議決定された「がん対策推進基本計画―第二期―」において、初めて小児がんが重要課題の一つとして掲げられ、その中で「小児がん患者と家族が安心して適切な医療や支援を受けられる環境を整備することを目指し、5 年以内に拠点病院を整備するとともに、全国の中核的な機関の整備を開始することが目標」と定められた。
- ・その結果、全国に 15 の小児がん拠点病院（平成 25（2013）年 2 月指定）、2 施設の中央機関（平成 26（2014）年 2 月指定）が指定され、5 年毎の更新を経て、現在も 15 の小児がん拠点病院、2 つの中央機関が全国にある。

2. 東京都小児がん診療連携ネットワークについて

- ・東京都内の医療機関では、近隣県から紹介されてくる患者を合わせると国内の小児がん患者の 10%以上を受け入れている。そのため、東京都では小児がん患者に対し、速やかにかつ適切な医療を提供する目的で、「東京都がん対策推進計画（第一次改定）」（平成 25 年 3 月）において、「東京都小児がん診療連携ネットワーク」を構築し、ネットワーク参画医療機関の専門性を生かした小児がん診療連携体制の構築を目指すことにした。（58 ページ図参照）
- ・平成 25（2013）年 9 月に、都指定の東京都小児がん診療病院 12 施設、都内小児がん拠点病院 2 施設、東京都医師会、がんの子どもを守る会により、東京都小児がん診療連携協議会を設立した。こちらは現在、東京都小児・AYA 世代がん診療連携協議会と改称し、令和 7（2025）年 4 月現在、東京都小児がん診療病院 13 施設、都内小児がん拠点病院 2 施設、オブザーバー医療機関 1 施設、東京都医師会、がんの子どもを守る会で構成されている。
- ・平成 26（2014）年 3 月から、診療連携ネットワーク参加施設の小児がん診療実績、診療環境についての情報公開を行っている。

東京都がんポータルサイト：

[小児がん診療施設 情報公開 | 東京都がんポータルサイト](#)

小児がん拠点病院、東京都小児がん診療病院を選択

- ・59～66 ページに、東京都小児がん診療連携ネットワーク参画施設の情報公開ページの概略（令和 7（2025）年 4 月時点）を掲載する。

東京都小児がん診療連携ネットワーク

The map illustrates the geographical distribution of 13 member institutions across Tokyo, numbered 1 through 13. The locations are as follows:

- 1: Minami-Shinjuku (新宿区)
- 2: Nishi-Shinjuku (新宿区)
- 3: Chiyoda (中央区)
- 4: Chiyoda (中央区)
- 5: Chiyoda (中央区)
- 6: Minato (港区)
- 7: Minato (港区)
- 8: Ohta (大田区)
- 9: Shibuya (渋谷区)
- 10: Shinjuku (新宿区)
- 11: Maebashi (東京都)
- 12: Itabashi (板橋区)
- 13: Toyoko (豊島区)

Additional locations marked on the map include:

- a**: Sagami (相模原市)
- b**: Maebashi (東京都)

The map also shows various other districts and cities, including Ohta (大田区), Minami-Shinjuku (新宿区), Nishi-Shinjuku (新宿区), Chiyoda (中央区), Minato (港区), Shibuya (渋谷区), Maebashi (東京都), Itabashi (板橋区), Toyoko (豊島区), Sagami (相模原市), and Maebashi (東京都).

a 国立研究開発法人国立成育医療研究センター※
b 地方独立行政法人東京都立病院機構
東京都立小児総合医療センター

1 東京慈恵会医科大学附属病院	8 東邦大学医療センター大森病院
2 順天堂大学医学部附属順天堂医院	9 慶應義塾大学病院
3 東京科学大学病院	10 日本大学医学部附属板橋病院
4 東京大学医学部附属病院	11 杏林大学医学部付属病院
5 日本医科大学付属病院	12 帝京大学医学部附属病院
6 聖路加国際病院	13 国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター
7 国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院※	

58

小児がん拠点病院

国立研究開発法人国立成育医療研究センター

所在地	東京都世田谷区大蔵2-10-1	最寄駅	小田急線 成城学園前駅、 祖師ヶ谷大蔵駅
相談窓口	医療連携・患者支援センター 医療連携室		
電話	03-3416-0181（代表）	FAX	03-3416-2222（代表）
対応可能時間	月～金 8時30分～17時00分		

施設の特徴

小児がんセンターは、全ての小児がん患者に対して世界標準かつ優しく温かい医療を提供するとともに、臨床研究の推進、新規治療の開発、長期フォローアップ体制の確立などを通じて、わが国の小児がん診療をリードすることを目指しています。小児がん拠点病院として、地域の小児がん診療を担う医療機関と連携し、小児がん患者及びその家族が、適正な医療と支援を受けることができるよう、全面的にサポートします。

主な診療科及び連携担当医（連絡先）

血液腫瘍科：松本公一・富澤大輔、脳神経腫瘍科：寺島慶太、移植・細胞治療科：坂口大俊、
血液内科：井口晶裕、外科：米田光宏、脳神経外科：荻原英樹、眼科：仁科幸子

地方独立行政法人東京都立病院機構

東京都立小児総合医療センター

所在地	東京都府中市武蔵台2-8-29	最寄駅	JR中央線・武蔵野線 西国分寺駅
相談窓口	医療連携室、ER（救急外来）		
電話	医療連携室 042-312-8116（直通） ER 042-300-111（代表）	FAX	医療連携室 042-312-8146
対応可能時間	医療連携室（月～金 9時00分～17時00分）		

施設の特徴

血液腫瘍に対する造血細胞移植など高度専門医療、集学的治療が必要な固形腫瘍・脳腫瘍に対応しております。561床を有する東京都の小児医療の拠点として、充実した小児集中治療部門を擁しており、全身集中管理や救急対応が必要な重症例への対応も可能です。心理士、ソーシャルワーカー、看護師だけでなく児童精神科医も含めたチームが長期治療中に生じる心理社会的な問題、成長発達支援やごきょうだいへの対応、退院後の生活など様々な相談に対応します。また、隣接する多摩総合医療センター（成人の地域がん連携拠点病院）との移行期医療連携や長期フォローアップのモデル体制を整備してまいります。

主な診療科及び連携担当医（連絡先）

血液・腫瘍科：湯坐有希、横川裕一、外科：森禎三郎、脳神経外科：井原哲、泌尿器科：佐藤裕之

東京都小児がん診療病院

東京慈恵会医科大学附属病院

所在地	東京都港区西新橋3-19-18	最寄駅	都営三田線 御成門駅 東京メトロ日比谷線 神谷町駅
相談窓口	がん相談支援室センター		
電話	03-5400-1232 (直通)	FAX	
対応可能時間	月～金 9:00～12:00 13:00～16:00、土 9:00～12:00 (祝日・年末年始・病院の休日を除く)		

施設の特徴

患者さんの病気に合わせて医師、看護師、保育士、臨床心理士、ソーシャルワーカーなどからなる小児腫瘍チームを組み、それぞれの垣根を越えて治療にあたっています。病棟では長期の治療を受けながら保育士や院内学級の先生から教育を受けます。小児がんのより良い治療法の開発を目指して、日本小児がん研究グループ(JCCG)をはじめ、多くの臨床試験に参加しています。特に小児固形腫瘍の治療は一人ひとり異なるため、小児科医、外科系医師、放射線治療医が連携して最適な治療計画を立てています。さらに、妊娠中からの胎児のフォローを可能にする産科との連携、治療中に生じた全身状態悪化に対応する小児専門集中治療ユニット(PICU)や緩和医療チームの存在、地元医療機関と連携した在宅治療、治療終了後の長期フォローと成人診療科との連携、遺伝性腫瘍に対しては臨床遺伝専門医を有する小児腫瘍医の相談体制などの“ライフサイクルに合わせた医療の提供”を心がけています。

主な診療科及び連携担当医(連絡先)

小児科：秋山政晴、小児外科：黒部 仁、小児脳神経外科：野中雄一郎

順天堂大学医学部附属順天堂医院

所在地	東京都文京区本郷3-1-3	最寄駅	JR・東京メトロ丸ノ内線 御茶ノ水駅
相談窓口	順天堂大学小児科(血液・腫瘍グループ)		
電話	03-3813-3111 (大代表)	FAX	小児科医局 03-5800-0216
対応可能時間	月～金 9時00分～17時00分、第2を除く土曜日 9時00分～12時00分		

施設の特徴

当院では小児血液悪性疾患のみならず、神経芽腫、肝芽腫、腎芽腫、その他の希少疾患も含む小児固形腫瘍、髄芽腫、上衣腫、胚細胞腫などの小児脳腫瘍の患者さんが非常に多く、常に積極的な高度集学的治療を提供しています。治療チームは小児腫瘍医、児童精神科医、小児外科医、脳神経外科医だけでなく、看護師、チャイルドライフスペシャリスト(CLS)、こども療養支援士、臨床心理士、病棟保育士、音楽療法士など多職種から成り、お子さんやご家族を含めたトータルケアに力を注いでおり、治療終了後は長期フォローアップ外来も充実しています。また、小児の消化器、心臓、腎臓、神経、感染症、児童精神・発達などの専門家も充実していることから、合併症や副作用に対する専門的な治療も提供しています。お茶の水という立地は、各方面からのアクセスに大変便利です。

主な診療科及び連携担当医(連絡先)

小児科：藤村純也、小児外科：宮野剛、脳神経外科：近藤聡英、整形外科：高木辰哉

東京都小児がん診療病院

東京科学大学病院

所在地	東京都文京区湯島1-5-45	最寄駅	JR・東京メトロ丸ノ内線 御茶ノ水駅
相談窓口	地域連携室		
電話	03-5803-4655	FAX	03-5803-0119
対応可能時間	月～金 8時30分～17時00分		

施設の特徴

主として血液悪性腫瘍、非悪性血液疾患、および原発性免疫不全症（PID）の診断および治療を、専門医および指導医資格を持ったシニアスタッフによる指導体制の下、チーム医療を通じた、エビデンスに基づく質の高い医療を実践しています。造血幹細胞移植においては、HLA 半合致血縁ドナーやNK細胞抑制性レセプター（KIR）リガンド不一致ドナーからの移植、移植後晩期合併症の軽減を目指した骨髄非破壊的前処置を用いた移植法にも積極的に取り組んでいます。移植後のウイルスモニタリングを実施し、難治性ウイルス感染症に対する養子免疫療法の開発・検討を行っています。その他、基礎研究室との連携も密接に行い、希少疾患に対する病態解析および診療体制の構築にも努めています。また、小児内分泌グループ等との連携により、小児がん生存者の長期フォローアップ体制の構築の充実を図っています。

主な診療科及び連携担当医（連絡先）

小児科：高木正稔 03-5803-5674（小児科外来）

東京大学医学部附属病院

所在地	東京都文京区本郷7-3-1	最寄駅	東京メトロ丸ノ内線・都営大江戸線 本郷三丁目駅 東京メトロ千代田線 湯島駅
相談窓口	地域医療連携部、小児科外来		
電話	03-3815-5411	FAX	03-3816-4108
対応可能時間	月～金 9時00分～17時00分		

施設の特徴

小児がんに関わる複数の診療科・部門が連携して専門機能を集結し、小児がんのお子さんに対するきめ細やかな高度医療を行っています。化学療法や外科的治療、放射線療法に加え、造血細胞移植や遺伝子細胞治療やゲノム検査なども含め、それぞれに必要な診療を自施設内で滞りなく完結できます。当院は東京都指定のこども救命センターの活動にも力を入れており、小児集中治療室が整備されていることから、重篤な状態の患者さんの受け入れも積極的に行っています。また、患者さんとそのご家族が安心して治療に専念できるように、院内学級、家族の滞在・宿泊施設などの設備を整え、さらには子ども療養支援士や小児専門看護師・社会福祉士等による支援体制を構築しています。また、大学病院の特性を生かし、成人診療科とも連携して、長期フォローアップ体制を構築しています。

主な診療科及び連携担当医（連絡先）

小児科：加藤元博、小児外科：藤代準

日本医科大学付属病院

所在地	東京都文京区千駄木1-1-5	最寄駅	東京メトロ南北線 東大前駅 東京メトロ千代田線 千駄木駅
相談窓口	小児科外来		
電話	03-3822-2131	FAX	03-5685-1792
対応可能時間	月～金 8時30分～16時30分、土 8時30分～14時00分		

施設の特徴

小児がんの診断・治療、そして治療終了後の長期フォローアップまで一貫して行っています。固形腫瘍の診断においては、附属施設である PET センターを活用し、よりの確な診断が可能です。治療にあたっては、日本小児がん研究グループ（Japan Children's Cancer Group : JCCG）の多施設共同臨床研究に参加し、研究プロトコルに基づく治療を実施しています。また、診療は血液腫瘍グループの医師に加え、循環器、神経、内分泌など各専門分野の医師が連携して対応しており、幅広いサポートが可能です。さらに、心理士も常駐しており、入院中は病棟で、外来診療時は外来で、精神的なケアも行っています。学童期のお子さんには、訪問学級の制度を整えており、休学することなく学業を続けながら治療を受けていただけます。治療終了後も、長期フォローアップ外来を設置し、成人された小児がん経験者の方々にもきめ細やかなサポートを続けています。

主な診療科及び連携担当医（連絡先）

小児科：植田高弘、板橋寿和

聖路加国際病院

所在地	東京都中央区明石町9-1	最寄駅	東京メトロ日比谷線 築地駅 東京メトロ有楽町線 新富町駅
相談窓口	相談・支援センター 医療連携室		
電話	03-5550-7105	FAX	03-3543-7307
対応可能時間	月～金 9時00分～17時00分		

施設の特徴

1960年代より、当院ではトータルケアの視点を持ち、多職種が連携しながら積極的に小児がんの治療に取り組んでいます。化学療法などの小児がん治療は小児血液・腫瘍専門医資格を有するスタッフが中心となって行います。小児外科医との円滑な連携のもと固形腫瘍の外科的治療のみならず、小児がん治療中の外科的処置を要するような事態にも対応ができます。また、日本造血・免疫細胞療法学会の移植施設認定基準を満たした診療科であり、日本骨髄バンクやさい帯バンクを含む様々なドナーからの造血細胞移植を行うことが可能です。医師、看護師以外にも薬剤師、栄養士、医療ソーシャルワーカー、心理士、チャイルド・ライフ・スペシャリスト、病棟保育士、院内学級教師、チャプレン（神父）からなる多職種チームが病気のお子様のみではなく、ご家族（ご両親やごきょうだい）も含めたケアにあたります。小児がんの治癒率が向上した現在では、治癒後の晩期合併症が問題となっています。当院ではAYA サバイバーシップセンターと連携して小児がん経験者に対する積極的包括スクリーニングを実施しています。その結果を健康管理に役立てていただくとともに、得られた知見の発信にも取り組んでおります（<https://www.luke.ac.jp/home/pdf/pr20221117.pdf>）。

主な診療科及び連携担当医（連絡先） 小児内科：長谷川大輔・吉原宏樹・細谷要介・小野林太郎・足洗美穂、小児外科：矢田圭吾・町頭成郎

東京都小児がん診療病院

国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院

所在地	東京都中央区築地5-1-1	最寄駅	都営大江戸線 築地市場駅 東京メトロ日比谷線 築地駅
相談窓口	地域医療連携室		
電話	03-5565-2321(直通)	FAX	03-3542-2546
対応可能時間	月～金 9時00分～16時30分		

施設の特徴

通常治療に抵抗性で治療が困難と判断されたり、再発を繰り返して治療選択に難渋している患者さんを多く受け入れ、臨床試験や治験に基づく新たな治療（未承認薬・適応外薬を含む）や造血幹細胞移植など、多様な選択肢を提供しています。小児がんが疑われた段階での受診、ご紹介にも常時応じております。当院では、がん診療に特化した小児内科、小児外科、放射線診断科、臨床検査科、病理診断科が緊密に連携し、疾患や状態に応じてMRI・CT・PETなどを適切に使い分けることで、迅速かつ正確な診断が可能です。腫瘍の生検も全身麻酔下での手術としてではなく、IVR室で実施しますので、紹介当日や翌日の実施も可能です。さらに、病棟内には東京都立墨東特別支援学校の分教室が設置され、小学1年生から高校3年生までを対象に、体調や進度にあわせて学習を継続できる環境が整っています。がん向き合いながら、子どもたちの未来と生活を支える医療と教育を提供しています。

主な診療科及び連携担当医（連絡先）

小児腫瘍科：荒川歩、小児腫瘍外科：小野賀功、眼腫瘍科：鈴木茂伸、
骨軟部腫瘍・リハビリテーション科：川井章、脳脊髄腫瘍科：成田善孝

東邦大学医療センター大森病院

所在地	東京都大田区大森西6-11-1	最寄駅	JR 京浜東北線 蒲田駅 京浜急行線 梅屋敷駅
相談窓口	がん相談支援センター		
電話	03-3762-4151	FAX	03-5763-6573
対応可能時間	月～金 8時30分～17時00分、土 8時30分～14時00分		

施設の特徴

現在4名のスタッフが血液腫瘍の外来、病棟を担当しています。入院中は治療による副作用などの影響もありますが、看護師や2名のチャイルド・ライフ・スペシャリスト（CLS）、保育士、薬剤師らと共にできる限りお子さんの身体的・精神的な苦痛を取り除き、子ども・家族中心医療を提供できるよう心がけています。治療中でも病棟イベントや季節行事に参加したり、他児らと一緒に遊んだり、日常を楽しく過ごせるように支援しています。病気のお子さんのきょうだいへの支援や、特別訪問学級による学習支援も受けられます。

主な診療科及び連携担当医（連絡先）

小児科：羽賀洋一・松岡正樹・高橋浩之、小児外科：高橋正貴

慶應義塾大学病院

所在地	東京都新宿区信濃町35	最寄駅	JR中央線・総武線 信濃町駅 都営大江戸線 国立競技場駅
相談窓口	がん相談支援センター		
電話	03-5363-3285	FAX	
対応可能時間	月～金 9時00分～17時00分(受付時間:9時00分～16時00分)		

施設の特徴

小児白血病、軟部肉腫、骨肉腫の診療で多くの実績があります。神経芽腫、肝芽腫などの小児外科系腫瘍や腎芽腫、横紋筋肉腫、精巣腫瘍などの泌尿器科系腫瘍、また小児脳腫瘍に対しても質の高い診療を行っています。移植技術の導入や様々な領域の外科医と連携して、通常では切除困難な固形腫瘍の外科的切除に取り組んでいます。難治性白血病や転移性腫瘍に対して、CAR-T細胞療法や造血幹細胞移植が可能です。肝芽腫に対する肝移植も可能です。15歳未満の小児だけでなく、地域がん診療連携拠点病院として、思春期・若年成人（AYA世代）のがん患者の治療も可能です。入院診療では、多職種の医療者が連携してひとりひとりの患者に手厚い対応を行っています。外来診療では、小児がん経験者に生じるさまざまな問題に対応可能な専門診療が整備され、成人期になっても継続的な長期フォローアップが可能です。

主な診療科及び連携担当医（連絡先）

小児科：嶋晴子、小児外科：藤野明浩、整形外科：中山ロバート、泌尿器科：浅沼宏・佐藤温子、脳神経外科：西本真章

日本大学医学部附属板橋病院

所在地	東京都板橋区大谷口上町30-1	最寄駅	JR・東京メトロ・東武東上線 池袋駅
相談窓口	患者支援センター(医療機関相談窓口) がん相談支援センター(患者相談窓口)		
電話	0570-01-8111(ナビダイヤル)	FAX	03-3972-0018 (患者支援センター)
対応可能時間	患者支援センター 8:30～16:30 (月曜日～金曜日) 8:30～14:00 (土曜日) がん相談支援センター 8:30～12:00, 13:00～16:00 (月曜日～金曜日)		

施設の特徴

当院は小児がん医療における先進的な病院として、国内外における標準治療の確立に積極的かつ継続的に貢献してきました。

小児がん診療の要である小児科、小児外科、脳神経外科、放射線治療科による医療体制が整っており、診療科間の連携も強く患者さんのニーズに添った医療を提供しています。

小児がんを専門とし、習熟した認定外科医が常勤しており、腫瘍の特徴に応じたより低侵襲で合併症の少ない外科治療を行っており、造血幹細胞移植を含む化学療法、さらに正常組織への影響を極力抑えつつ、高い治療効果を発揮する放射線治療を提供しており、患者さん一人ひとりの状態に応じた最適な治療を行っています。

また、医師・看護師・薬剤師・リハビリスタッフ・臨床心理士・保育士・医療ソーシャルワーカーをはじめ多職種が連携し、子どもサポートチームなどとのチーム医療を行い、すべての患者さんとそのご家族に「最善の治療と支援を届ける」ことを使命としています。

主な診療科及び連携担当医（連絡先）小児科：下澤 克宜・金澤 剛二、小児外科：上原 秀一郎・星 玲奈、脳神経外科：吉野 篤緒・角 光一郎

VII 東京都小児がん診療連携ネットワーク参加医療機関の情報

東京都小児がん診療病院

杏林大学医学部付属病院

所在地	東京都三鷹市新川6-20-2	最寄駅	JR中央線・京王井の頭線 吉祥寺駅 京王線 仙川駅
相談窓口	がん相談支援センター		
電話	0422-47-5511 (内 22030)	FAX	
対応可能時間	月～金 9時00分～17時00分		

施設の特徴

診療各科の連携を行い、大学病院として総力を挙げて小児がんの患者さんの診断、治療を行います。小児科では、主に抗がん剤による化学療法を行い、手術や放射線治療が必要な場合には、小児外科、各専門外科や放射線治療部で治療を行います。当院で行えない特殊な治療が必要な場合には、近隣の小児がん拠点病院や小児がん診療病院とも連携・協力していきます。小児科病棟では、さまざまな病気で入院している子供たちと一緒に治療を行っており、大部屋あるいは必要に応じて個室で治療を行います。長期に入院される小・中学生の患者さんについては、都立小平特別支援学校の協力で訪問学級による教育が継続できます。杏林大学医学部付属病院では、“あたたかい、心のかよう、良質な医療を患者さんに提供する”ことを理念にしており、医師、病院スタッフともにこの理念のもと、診療にあたっております。

主な診療科及び連携担当医（連絡先）

小児内科：吉野浩・安藤理恵、小児外科：浮山越史、脳外科：永根基雄、整形外科：森井健司

国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター

所在地	東京都新宿区戸山 1-21-1	最寄駅	都営大江戸線 若松河田駅 東京メトロ東西線 早稲田駅
相談窓口	患者サポートセンター医療連携室、小児科外来		
電話	03-3202-7181 (代表)	FAX	03-6273-8649 (小児科外来)
対応可能時間	月～金 9時～17時		

施設の特徴

当院では、小児白血病をはじめとする造血器腫瘍や固形腫瘍に対し、国内外の臨床試験や国際共同研究に基づいた標準治療および先進治療を提供しています。化学療法・造血幹細胞移植・放射線治療に加え、東京大学医学部附属病院小児外科や東京女子医科大学脳神経外科と連携した外科治療を含む集学的治療を実施しています。思春期・AYA世代の小児がん治療にも対応し、小児緩和ケアや心理社会的支援、退院後の長期フォローアップも行っています。また、長期入院中のこども達に医師や小児専門看護師、心理士、保育士、HPS、薬剤師など多職種がチームを組み、各種イベントやセラピードッグを活用しながら療養環境の改善を図っています。移行支援外来では、成人期を迎える小児がん経験者への成人移行（トランジション）支援にも積極的に取り組んでいます。加えて、アジア諸国との連携を含む国際的な教育・研修プログラムを通じ、世界水準の小児がん医療の発展に貢献しています。

主な診療科及び連携担当医（連絡先）

小児科：望月慎史、山中純子、瓜生英子、田中瑞恵、水野貴基

帝京大学医学部附属病院

所在地	東京都板橋区加賀2-11-1	最寄駅	JR 埼京線 十条駅 都営地下鉄三田線 板橋本町駅
相談窓口	がん相談支援室(がん相談支援センター)		
電話	03-3964-3956(直通)	FAX	
対応可能時間	月～金 9時00分～16時00分		

施設の特徴

白血病、脳腫瘍、骨軟部腫瘍など小児がん全般の診療を行っています。対象の患者さんはAYA世代も含んでいます。患者さんの治療には小児科のみならず、小児外科、耳鼻咽喉科、眼科、脳神経外科、放射線科とも連携して疾患横断的に治療を行っています。また、患者さんのQOL(quality of life:生活の質)を落とさないように、リハビリテーションや教育、心理士のサポートなど、入院生活を送るのに、前向きに取り組めるように活動を行っています。

主な診療科及び連携担当医（連絡先）

小児科：樋渡光輝

VIII 関係団体の紹介

公益社団法人 東京都医師会

所在地	東京都千代田区神田駿河台 2 - 5
担当窓口	疾病対策課
電話	03-3294-8821 (代表)

東京都医師会は、地域医療を支える都内の 48 地区の医師会、12 の大学医師会、そして都立病院医師会から構成されていて、都民の視点に沿った住み慣れた地域での安心安全な医療提供体制と地域包括ケアの構築を目指しています。小児がんに関しては、高い水準の医療を提供するために東京都行政と共に診療連携体制の構築に力を注いでいます。小児がんは、種類也多岐にわたり治療法もそれぞれ異なります。その初発症状は多彩であり、初期の段階での診断に苦慮することがあります。しかし病勢の進行が早いので早期の発見および治療が重要であり、専門の医療機関と速やかに連携を図る必要があります。治療後も長期フォローアップが重要であり、地域でのかかりつけ医が担う役割は大きく、東京都医師会としても支援体制の構築に努めています。

公益財団法人 がんの子どもを守る会

所在地	東京都台東区浅草橋 1-3-12
電話	03-5825-6311 (代表) 相談電話 03-5825-6312

がんの子どもを守る会は、1968 年 10 月に小児がんで子どもを亡くした親たちによって、小児がんが治る病気になってほしい、また小児がんの子どもを持つ親を支援しようという趣旨のもと設立されました。患児家族及び関係者に対し、小児がんに関する資料や生活面の情報提供のほか、医療・社会・心理的な相談にソーシャルワーカーが応じています。その他、ピアサポート事業、宿泊施設の運営、小児がん経験者への奨学金の給付、調査研究事業など、小児がん医療、療養環境に関するあらゆる活動をしています。